



「技術系協会合同講演会」四国支部

四国支部は、2025年11月25日（火）JR四国本社大会議室において、日本鉄道施設協会を含む6つの技術系協会合同にて約80名の参加（内、施設協会会員24名）のもと、合同講演会を開催しました。本講演会の主旨ですが、若手社員への技術継承が問題となっている中で、各協会が連携して技術継承に取り組むことを共通の目的として、2013年度から始めており、コロナ禍を除き毎年開催しています。

開催にあたり、技術系協会を代表して日本鉄道技術協会会長戸四国支部長の挨拶に始まり、その後、講師として（公財）鉄道総合技術研究所研究開発推進部の長谷川様にお越しいただき、「鉄道システムのGX推進」と題して講演をしていただきました。

2050年カーボンニュートラルを目指し、鉄道分野においてもGX（グリーン転換）に資する技術開発が進められています。国の基本方針により、「鉄道の脱炭素化」、

「鉄道による脱炭素化」、「鉄道が支える脱炭素化」の3本柱で産業全体でのCO₂排出量の削減を進めていますが、今回の講演では「鉄道の脱炭素化」、特に非電化区間の方向性について、バイオ燃料、蓄電池車、水素電車における技術面の紹介、社会実装に向けた制度整備として、技術基準省令の改正について解説していただきました。

講演の最後には、参加された会員からの質疑があり、会員各位の理解を深めることができました。長谷川様におかれましては、ご多忙の中、講演していただいたことに対しまして、心より厚く御礼申し上げます。（澤野）

